

自己評価（令和7年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価					
データ 分析 表	データ表			データグラフ	
	14	内容	項目数		平均
	15				
	16	「乳児保育」	15		4.60
	17	「3歳未満児保育」	26		4.23
	18	「3歳以上児保育」	53		3.58
	19	「教育保育の配慮事項」	16		3.13
	20	「健康・安全」	29		3.17
	21	「子育ての支援」	18		3.28
	22	「職員の資質向上」	9		4.33
23	計	166	3.67		
総合 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会の定期開催は、魅せる化として継続的に取り組むためには必要であった。今後はさらに子どもたちの育ちを意識して取り組んでいきたい。 ・子どもたちの育ちの見通しの課題から園内研修を開催でき、今後につながりにしていきたい。 ・アトリエの環境も充実することから、園庭も含めた自園の特色となるようにしていきたい。 ・地域への関わりも充実していき、園での取り組みも報告できる場が増えてきたので、継続していき、自園の役割を探り、把握しておく。 				

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
自己決定と選択の尊重	子どもの観察を行い、職員間の意見を交わしながら、環境を整えていく
環境問題への配慮	SDGsについて職員間で情報交換する場を設け、日常の活動につながる意識を高める
実習に対する丁寧な対応	積極的な実習生の受け入れと、受け入れる際の丁寧な関わりをしていく